

「令和８年度障害福祉分野における人材確保のための職場改善支援等業務」に関する
質問に対する回答

令和８年１０月５日

No.	募集要領・仕様書 該当箇所	質問	回答
1	－	本事業の実施にあたり、その一部について、実施可能な業者へ再委託することは可能か。	再委託は可能ですが、契約後、業務開始までに書面により発注者の承諾を得てください。
2	仕様書 ５（１）イ	サポートセンターへの相談について、何件程度を想定しているか。あるいは過去の実績があれば教えていただきたい。	今年度より新規開設となるため、過去実績はありませんが、50件程度を見込んでおります。
3	仕様書 ５（２）へ	ICT 機器の導入を含む場合、昨年度は無償レンタルを実施していたと思うが、今年度は無償レンタルは無いという認識でよいか。	今年度事業に関して、機器の無償レンタルは必須としておりません。
4	仕様書 ５（２）へ	レンタル機器を使用しない場合の効果検証については、実測データではなく、妥当性のある評価資料を整えればよいか。	お見込のとおりです。 検討過程や実施内容等の記録やその他必要資料をご提出いただくことを想定しております。
5	仕様書 ５（２）チ	対象事業所が支援を受けている年度中に ICT 機器を導入したいという希望があった場合、年度内に機器導入の支援を行ってもよいか。	事業所の自己資金での導入に対する支援は構いません。 ただし、障害者支援施設（入所施設）の場合は、導入に際して補助金の利用ができる可能性があるため、対象事業所から導入の意向が示されたときは、その時点で発注者にご報告のうえ、進め方を協議させていただきます。

6	仕様書 5 (3) ロ	対象事業所の選定においては、横展開を実施することを前提として、事業所名の公表等について、受注者が了解を得た上での選定となるか。	対象事業所の選定については、県が募集及び選定を行うため、受託事業者様において、選定いただく必要はありません。
7	—	10月20日のプレゼンテーションについては、現地で行う必要があるか。また、時間帯は何時頃か。	企画提案のプレゼンテーションにつきましては、現地参加を基本としますが、オンラインでの実施も認めます。 オンラインでの参加をご希望の場合は、企画提案書提出の際にその旨をお伝えください。後日、参加のための URL (webex) を電子メールでお送りいたします。 また、実施時間は午前中を予定しておりますが、あくまで予定であり、詳しい時間は企画提案者へ別途お知らせします。
8	仕様書 5 (2) ホ、チ	各事業所が導入する ICT 機器の購入費用等は、本事業の予算の中に含める必要があるか。それとも各事業所の自己負担や別の補助金等を活用する前提（本委託はあくまで伴走支援・コンサルティングのみ）か。	本事業の予算に導入する ICT 機器の購入費用等は含まれておりません。 本事業の事業内容は仕様書のとおりです。 なお、ICT 機器の購入費用は、事業所の自己負担を前提としますが、障害者支援施設（入所施設）の場合は、導入に際して補助金の利用ができる可能性があります。
9	仕様書 5 (3) イ	県が設置する「障害福祉現場における人材確保や生産性向上等に関する協議会」について、年間の	年1回の開催の予定です。また、受託者が協議会の事務局運営やプレゼンテーション等を行うことは想定しておりま

		開催頻度や時期の目処はあるか。また、資料提供だけでなく、協議会の事務局運営やプレゼンテーション等も行う想定か。	せん。
10	仕様書 5（3）ロ	報告会について、会場を借りてのリアル開催を想定しているか。オンライン開催とのハイブリッドまたは完全オンラインでも可能か。リアル開催の場合、会場借上料等の経費は本委託予算内に含める認識でよろしいか。	仕様書の「報告会」はあくまで例示となります。 開催方法等も含め、横展開に有効な手法について、提案者が企画提案してください。 リアル開催の場合、会場借上料は委託予算内に含めるものとします。
11	企画提案募集要領 第4 応募手続 2（4）	同種・類似事業の受託実績の報告について、書式は任意と記載があるが、過去2年以内の同種・類似業務実績を一覧化させた資料（契約期間、契約名等を記載）を提出するのみでよい。	お見込みのとおりです。
12	仕様書 5（2）リ	支援事業所は15カ所程度とあるが、1事業所あたりのコンサル回数はどの程度を想定されているか。	仕様書のとおり、「本業務の目的を達成するために有効な方法により、必要と認められる回数を実施すること」としてあります。 そのため、企画提案者の独自のノウハウを基に、想定される実施回数をお示してください。